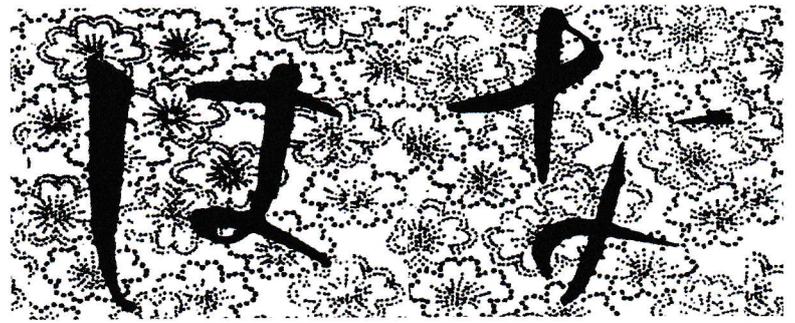


大和華道協会

発行 平成30年10月1日
 創刊日 昭和54年10月1日
 事務局 大和市上和田124-12
 046 (267) 4153



「不確実な時代」

会長 大垣 鳳 菜

大和華道協会会員の皆様、お元気ですか。今夏は昨年を上回る猛暑になりました。この猛暑をNHKは異常気象新時代と報じました。地球温暖化が要因と云われています。

四季とその移ろいの中に命の再生を見た日本人は「いけばな」を創造しました。異常気象は花材にとり大変なことだと思います。今はまだ春に桜が咲き、秋には薄が穂をなびかせていますが気候の変化に伴い、植生も変化するかも知れません。

7月、栗駒高原伊豆沼の蓮の群生地をメインに平泉金色堂を巡る旅をしました。その折厳美溪奥の旅館の女主が「10年前の岩手南部地震の震源地です」と目の前の山を指した。今では折れ曲がった橋の遺構を遺すのみで地震の跡は何もない。夏草の中に山百合が咲き山々は緑におおわれる自然の回復力のたくましさ、新しい道を通し、橋を掛けインフラを復興させた、人の叡智を想うと遺構の橋は緑の中で一層眩しく思えた。

この10年を見ると、7年前には未曾有の東日本大地震が、以後数年毎に熊本、大阪、北海道と地震が続き、洪水も毎年のように起きています。西日本に甚大な被害があったばかりです。

火山噴火に台風、そして猛暑と自然災害にみまわれ続け、その度に多くの人命が奪われて来ました。これは日本に限らず地球規模で起きているのです。抗えない大きな力になすすべもない不安な時代です。明日は我が身と思っ、その時どう処すべきか心構えをしておかねばと思うのです。

協会ではこの6年で5名の顧問の先生方が天国に旅立って行かれました。私は33年の役員歴の中で先生方にご指導を頂き、多くを学ばせて頂きました。又先生方は多勢のご子弟を育てられ、現在ご活躍の方々の中に薫陶を受けられた子弟の方々がおられます。

伝統文化は師から子弟に、そしてその子弟にと技術や精神が継承されながら、長い歴史を刻んで来た世界です。今、そこに黄色信号が灯りはじめているのではないのでしょうか。要因は複合的で、少子化・趣味の多様化・経済や職場環境などさまざまありますが、若い方が入って来ません。一方で高齢化はすすみます。問題はとても深刻です。文化庁のこども教室の成果に託す一方で私達は、少しでもチャンスが生まれる様、積極的な教授活動を始めなければなりません。将来を見ずると現在の私達の責務なのではないでしょうか。



5月29日 総会・レクリエーション クレマチスの丘庭園

21世紀は「不確実な時代」と云われています。産業革命が起きているかのようあらゆる分野で大きな変化が顕れています。特に2020年東京五輪に向け総力をあげ益々技術発展していくことでしょう。

協会でもその恩恵を享受しながらも守るべき本質は守らなければと強く思うのです。不確実な時代だからこそ！

特別寄稿

華道文化のさらなる発展を願って

大和市長 大木 哲



会報「はな」第36号のご発行、誠におめでとうございます。

大和華道協会は、昭和26年10月の創立以降、その長きにわたる活動を通じて、日本の伝統文化である

華道の継承と発展に大きく貢献されてきました。また、市役所本庁舎や今年4月にオープンした市民活動拠点ベテルギウスへの插花のほか、市が主催する文化行事にも多大なるご協力をいただいております。会員の皆様のご尽力に改めて感謝申し上げます。

「瞬間の芸術」とも言われる華道は、四季折々の草花を生かし、一番美しい一面を創り出す芸術として、古くから多くの人を魅了してきました。

また近年では、言葉が通じなくても伝わる美しさと、礼儀作法を重んじる「道」の精神が一つの芸術として賞賛され、日本が誇る伝統文化として海外でも注目を集めています。文化の祭典でもある2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け

て、全国各地で日本文化の素晴らしさを伝える活動の広がりが期待されています。本年12月に文化創造拠点シリウスで行われる第67回いけばな諸流展をはじめ、貴協会の精力的な活動によって、人々の心がますます豊かになるとともに、自国文化に誇りをもつ方が増え、日本が誇る華道文化の輪がより一層広がることを切に願っております。

本市では、文化芸術振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくため、現在、第3期文化芸術振興基本計画の策定に取り組んでいます。

「文化の薫るまち」の実現に向けて、今後もより多くの市民の方が文化芸術に触れあえる環境づくりを進めてまいりますので、貴協会におかれましては、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴協会のますますのご発展と会員の皆さま方のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ

大和市教育局教育長 柿本 隆夫



この度の会報「はな」のご発行を、心からお喜び申し上げます。

大和華道協会の皆さまにおかれましては、長年にわたり日本の代表的な伝統文化のひとつであり、所

作を重んじる華道の普及・振興、ひいては本市の社会教育の推進にご尽力をいただいております。そのご功績に対し、深く敬意を表するとともに、厚く御礼申し上げます。

また、昨年12月、大和市文化創造拠点シリウスにおいて開催された「第66回いけばな諸流展」では75席もの出瓶があり、来場者も1,800名を超え、併せて開催された「いけばな体験教室」も前回は超える体

験希望者が集まり、諸流展全体として盛況であったとお聞きしております。

改めて「いけばな」に対する人々の関心の高さを感じるとともに、貴協会が日々取り組んでいる華道の普及・振興の成果が目に見えて表れており、とても喜ばしく思っております。

貴協会会員の皆さまにおかれましては、ますます精進され、素晴らしい作品を作り続けていただくとともに、伝統文化の継承と普及により一層ご尽力いただきたいと心より願っております。

終わりに、今後の大和華道協会のますますのご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

生け花の力

副会長 松川 婦峯

20歳前、生け花に全く関心がなかった頃のこと、友人と3人で山陰の萩、津和野を旅した。その日泊まる宿の玄関で、私はそこに生けられた花の前で立ち止まっていた。「生け花ってこんなに素敵なの!」と。その光景は今も目に浮かぶ。花の名前など知る由もなかったが、後に考えると杜若の群生であったかと思う。

それからしばらくして実家の近くに生け花教室が開かれ入門する。大和の地に嫁いでも良い先生にめぐりあうことが出来た。

繰り返しくりかえしの稽古。昨年習ったはずの花材に戸惑う年月はこれが華道という事かと思えた。

それでも「継続は力なり」で今は教えている。ある時、数回限定の生け花体験講座を行ったのだがその受講生の1人から嬉しい話があった。「前回の花を家に活けたら、90歳を超える母が『まあ!きれいなね〜』と笑顔になりました。母はもう食事くらいにしか関心が無くなっていたのに、毎日毎日『きれいなね〜』と喜んでいるのですよ」と。

私が花の道に入るきっかけも、この方の笑顔も生け花の力。花は勿論活けた人の心遣いが見る人をとらえるのでしょう。今、庭先に桔梗が咲いている。心を込めて生けたいと思う。

声

— 新春の集いの楽しみ —

毎年楽しい新年会に出席させていただき、ありがとうございます。会場、景品等々役員のご苦勞に感謝、感謝です。

私は新年会に楽しみにしていることがあります。それは各テーブルの小さなアレンジ花です。シンプルでおしゃれなこの花に、テーブルに着くと“おめでとうございます”と声をかけられるようで、毎年心が癒されます。これからもずーっと楽しみにしております。

草月流 荻窪 虹礼



新春のつどい (テーブル花)

— いけばな諸流展に参加して —

この度は、素晴らしい会場「シリウス」にて生け花の出展ができ、うれしく思いました。

今回出展したお花の材料を選ぶのに時間がかかり苦勞しました。花の種類や枝の切り方、挿し方又1本の向きや長さにより表情が変化する生け花の世界は大変奥深いものがあります。

これからも先生のご指導のもと益々努力をして勉強をしていきたいと思ひます。

草月流 磯田 陽寿



いけばな諸流展 (オープンスペース)

— 大和市一般公募展添え花について —

シリウスで文化祭一般公募展添え花を、大森先生と生けさせていただきました。花材を庭のどうだんつつじと合わせる花を決める中で、お花選びの大切さ、楽しさを以前にもまして改めて感じました。

花の風情は、その時その時の花との出会いと思いとで生けあがります。見て下さる方が、少しでも和みと興味を感じていただけたら、とてもうれしいです。

古流大観流 伊藤 理妙



一般公募展作品

— 総会・レクリエーションに参加して —

5月29日は梅雨の晴れ間、天気も良く汗ばむ程の気温でした。道の混雑もなくスムーズに廻る事が出来ました。はじめのクレマチスの丘は広いお庭に様々な種類のクレマチスやバラが咲き誇り、モア美術館では長いエスカレーターにビックリし、起雲閣では贅沢な装飾品に目を奪われました。このバス旅行は、とても楽しく贅沢な時間を過ごす事が出来ました。また次回も参加させて頂きたいと思ひます。

日本古流 天野 一紗

— グリーンアップセンター展示花 —

我家の庭先からすぐの所にある泉の森は、毎日の散歩コースになっています。四季折々のお花が楽しめるその場所の一角にグリーンアップセンターがあります。3月上旬に開催される展示花に毎年参加させていただいています。桜・れんぎょう・椿などの色とりどりの花材に、一足早く春を感じさせていただいています。珍しいお花を知ることでもでき、毎回勉強になります。

照月流 山口 一道



クレマチスの丘、草間彌生作品の前にて

インフォメーション

平成30年度主な活動

- H30. 4. 26～5.1 第69回神奈川県華道展
(さいか屋藤沢店)
- 5. 29 総会・レクリエーション
(クレマチスの丘・MOA美術館・起雲閣)
- 7. 23 代表者と教授者のつどい
(シリウス6階・生涯学習センター)
- 10. 10～11.3 一般公募展添花〈大和市文化祭〉
(大和市文化創造拠点シリウス・ギャラリー)
- 11. 21～23 大和市民芸術祭
(大和市文化創造拠点シリウス・ギャラリー)
- 12. 8～9 第67回いけばな諸流展
(大和市文化創造拠点シリウス・ギャラリー)
- H31. 2. 新春の集い
- 3. 1～7 グリーンアップセンター展示花

第67回 いけばな諸流展

会 期 平成30年12月8日(土)～9日(日)
10時～17時

会 場 大和市文化創造拠点シリウス・ギャラリー

グリーンアップセンター展示花

会 期 平成31年3月1日(金)～7日(木)

1次 3月1日(金)～3日(日)

2次 3月5日(火)～7日(木)

いけばな諸流展の折お申し込み下さい

新代表者紹介

くわ はら こうしょう
栗原 孝 咲 (小原流)

ボランティア活動

大和市役所、市民活動拠点ベテルギウスの花席に交代でお花を活けております。又ご希望の方は担当までご連絡下さい。

〈連絡先〉野口 一系 Tel 046-267-8078
高下 陽紀 Tel 046-274-1455

新入会員募集

いけばなを教えている方・関心のある方にお勧め下さい
問い合わせ先 会長 大垣 鳳葉 ☎046(267)4153 〈随時受付〉

印刷/S I 印刷 TEL 046-269-5400・FAX 046-269-1697

心に
残る
私の
一作



三村 紅晶 (草月流)

大きな枝の流れとその足もとに咲く花々の中に植生感をイメージし、横に並べた木箱の中にショーウィンドーに陳列された小花の装飾感を添わせてみました。

植生と装飾、このいつけん相反するモチーフを一緒にしてみた私の好きな作品のひとつです。

部室紹介

青少年センターが移転し、旧図書館がリニューアルされて新しく市民活動拠点ベテルギウスとなり、ボランティア花席も移動しました。

ベテルギウス内には、大和華道協会の部室があります。会議・講習などに使用される場合、部室の貸し出しをいたします。詳細は役員までお問い合わせください。

訃報

顧問 鏡麗月先生(宏道流)が平成30年1月20日にご逝去されました。(享年106才)

協会創立以来、永年ご尽力をいただきました。謹んで心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌

編集後記

酷暑の時期にもかかわらず、快くご寄稿賜りまして心よりお礼申し上げます。今回から広報委員が交代となりました。皆様と一緒に良い紙面づくりに努め、会の活動をお伝えして参ります。 広報 野口・高下